

社会福祉法人 宝島福祉会 理念

『愛と柔和な心』

理念について

天は天、地は地、すべてのものが個々に
意味を持ちつながりあう、ひとは人であり
それぞれに愛をうけ、愛をつたえる、それを
受け伝えることが非常に困難な方に、その時の
流れに応じお互いをわかりあう事に尽くし、
その方の持つ個性と感性を導き、やさしい
人間性と自立心を育むことに努める。

『人は人であり、ともに日々あたりまえの生活を歩む』

宝 島 福 祉 会 支 援 基 本 方 針

近年の研修において、施設とその利用者・保護者との関係については、対お客様という位置づけが益々強調されてきていますが、小規模施設に見られるような、法人立ち上げ時よりファミリー的な集団としての施設運営をしている所にとっては、違和感を覚える事も少なくありません。宝島においても、ファミリー的な考え方をすべて排除するのではなく、利用者・保護者との関係に対し、良い意味でのファミリー的な関わりをもち続けようと考えています。

宝島における支援では「人はひとであり、ともに日々あたり前の生活を歩む」この考えを基本とし福祉サービスが行われますが、事業所により概念が大きく分かれる所です、

「ケアホーム 宝島」で、なされる支援の基本は、利用者にとってホームは我が家である、これが大前提の上に支援がなされねばいけません、その中での集団生活をいかにしたらお互いがエンjoy出来るのか、社会感と常に一步先の自立を促す、まさにその部分を我々支援員が導き利用者が安全で、安心できる環境を築きあげて行く場所であります。

日中活動の場である、事業所「宝島」では、事業の目的として個人の能力を高める事により、生産量を増やし工賃の増額を計り、創作活動やより多くの社会参加に繋げ自立を推進して行く、という基本のうえに立ち指導的支援がなされなければいけません、この指導的支援の困難さ危うさを支援者が

理解し、利用者への支援向上に携わる者全てが自分に問いかける時間を怠らないように取り組まなければいけません。

支援の心得

利用者、ご家族の意向を尊重し誰もが安心して利用できる福祉サービスの提供に努めます。私たちは、福祉サービス提供者として常に新しい支援技術・倫理などを学び且つ既存制度の枠組みにとらわれない支援を実施していかなければいけません。障害を持つ方が自信を持って暮らせる社会を目指し、地域福祉の推進に努めます。私たちは、福祉サービスを利用する方の個性、主体性、可能性を尊び、人としての権利を擁護し、サービス提供者としてその専門的役割と使命を自覚し、向上心を持ち福祉サービスを利用する方の自立を促し一人ひとりが豊かな生活を実感し、充たされた人生が送れるよう支援を続けて行きます。